備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成１４年度～	
総合計画 大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」
総合計画 中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち
総合計画 小項目	施策	34	道路環境の整備
事務事業名		08	協働による市道等管理事業

根拠法令・例規等		
問合先	担当課（室）	まち整備課
問合先	職・氏名	管理係長　瀬尾茂樹
問合先	電話	0869-64-1833
このシートの作成に要した時間		2.5　時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	公共施設利用者
目的（何のために）	地域住民や企業等の団体が市の支援の下に、清掃美化活動等のボランティア活動を通じて公共施設への愛着心を深めるとともに公共施設利用のマナーの向上を図ることを目的とする。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	公共施設利用者の清掃意識やマナー向上を図る。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
道路・河川等ボランティア推進事業	道路・河川等の清掃美化活動の補助を行う	◎

事業費等

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	1,870	1,803	1,938
	必要人員／人件費	千円	0.09人 / 873	0.07人 / 649	0.05人 / 480
	事業費計	千円	2,743	2,452	2,418
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	2,743	2,452	2,418
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
活動団体数		説明			
	結果指標量	団体	58	57	60
	対前年比	%	－	98.3%	105.3%
	活動コスト	円	2,743,000	2,452,000	2,418,000
	単位当たりコスト	円	47,293	43,018	40,300

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
平均活動回数	目標値（A）	4	4	4	4
	実績値（B）	4	4	4	到達目標値
	達成率（B/A）	100.00%	100.00%	100.00%	4

成果指標設定の考え方・式や説明

活動回数（B）／活動目標回数（A）

である成果指標に留意しながら有効性を評価

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価（市の関与の妥当性・必要性／市民ニーズ）

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**B**

効率性の評価（コスト・手段）

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

有効性の評価（目的達成度・市民参画度）

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ■ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

進行年度（H26年度）の改革改善内容

	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○					

説明：活動成果により維持管理コストが軽減されているため引き続いて行う必要がある。

総合評価

前年度比が１団体減少しているものの、清掃美化活動への貢献度が上がっている。今後も登録団体を増加させ、直営で行っている草刈経費等の縮減効果を上げる。

総合評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**B**

Action

平成27年度の方向性・取組目標

	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○					

取組目標：平成２７年度以降も引き続いて行う必要がある。